

学修状況調査（2025 年度）分析

学修支援センター

2026 年 7 月 3 日

本資料は、2025 年 9 月 8 日から 2026 年 3 月 31 日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、2013 年度から調査の対象・時期などを状況に応じて変更しながら実施しており、2019 年度から今年度までは概ね同じ形式で実施している。

回答状況を表 1 に示す。人数が少ない学部・学年もあるが、全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は 60.43%と、前回の 51.56%より 8.87 ポイント高い結果となった(前々回は 23.97%)。前回の回答状況と比べると、学部別では総合経営学部が 69.92% (前回は 73.96%)、社会学部が 49.37% (前回は 68.00%)、ソフトウェア情報学部が 53.23% (前回は 16.67%) 及び薬学部が 58.37% (前回は 21.27%) と、総合経営学部では継続して約 7 割の回答が得られるとともに、ソフトウェア情報学部で 36.56 ポイント及び薬学部で 37.10 ポイント増加した。

表 1 回答状況（学部・学年別）

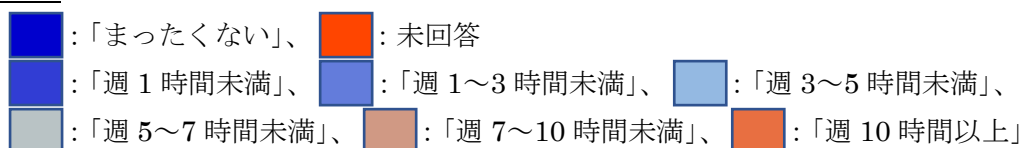
	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1 年生	87 名	27 名	53 名	21 名	188 名
2 年生	98 名	24 名	45 名	26 名	193 名
3 年生	99 名	32 名	31 名	28 名	190 名
4 年生	74 名	35 名	3 名	21 名	133 名
5 年生				2 名	2 名
6 年生				24 名	24 名
学部計	358 名	118 名	132 名	122 名	730 名

以降、それぞれの質問に対して、前回以前の調査との比較も含めた分析結果を述べる。

学修時間に関する質問では、授業時間外学修の状況を中心に、一週間あたりの時間の使い方を尋ねた。各項目は、文部科学省が実施した「全国学生調査（第 4 回試行実施）」の問 5「今年度後期の授業期間中の平均的な 1 週間（7 日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。」の項目を一部取り入れ、「授業（実習・実験含む）への出席」、「授業の予習」、「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」、「授業以外（資格取得など）の学習」、「部・サークル活動」、「大学外でのアルバイトや仕事」、及び「就職・進学などに関わる活動」にかけている時間を、それぞれ尋ねた。

図中の配色は、時間が少ない順にそれぞれ次のようになっている。回答状況を示す図を、「ゼロ（未回答を含む）の者」と「実施している者」の回答の二つに分けて示す。

回答内容



質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間 週 10 時間以上

授業に出席している時間（図 1）は、全学的に 54.11%が「週 10 時間以上」と回答した。学部別の割合は薬学部が 90.16%と最も多く、次いでソフトウェア情報学部が 53.03%、総合経営学部と社会学部は概ね 45%前後であった。また、ゼロや「週 1 時間未満」の回答が薬学部以外の 3 学部で見られるが、回答誤りあるいは 4 年次の学生が「卒業論文」及び学外での実習を、「授業」とは別に捉えている可能性がある。

前回調査と比較すると、週あたりの授業に関して「週 10 時間以上」と回答した割合は、総合経営学部で 6.01 ポイント減、社会学部で 7.79 ポイント増、ソフトウェア情報学部で 16.20 ポイント減及び薬学部では 1.33 ポイント減であった。

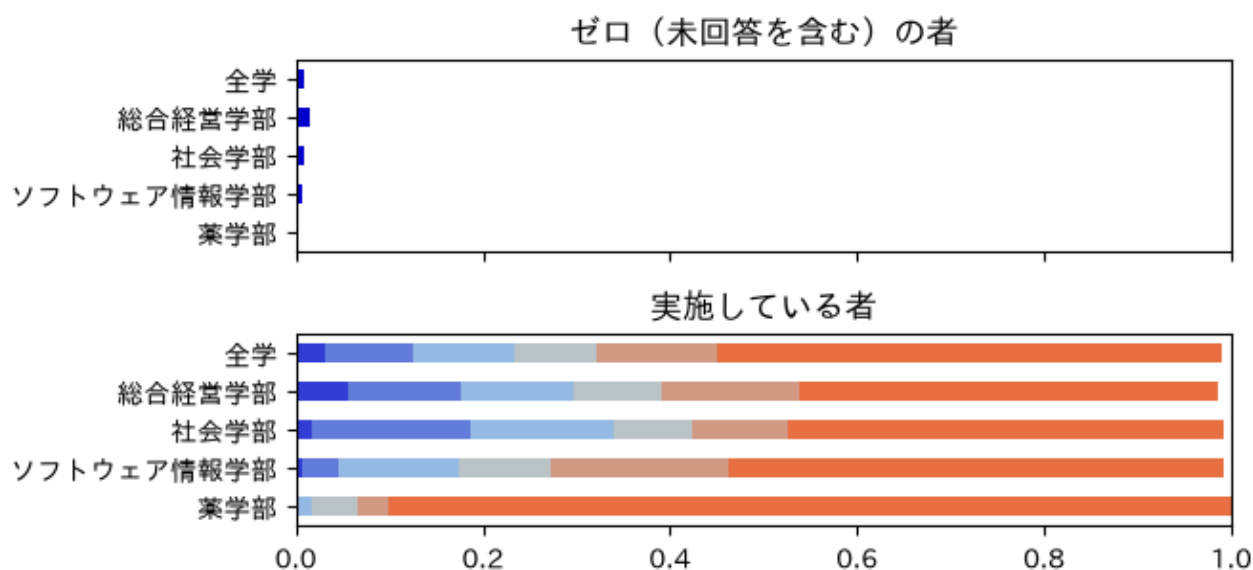


図 1 「質問 1(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間の回答分布

質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間 週 1 時間未満

質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間 週 1 時間未満

授業の予習と復習に書ける時間は、図 2 及び図 3 のような状況であった。予習よりも復習にかけられる時間が多い傾向が、今回も見られた。また、薬学部において 91.80%の学生が日常的に復習を行っており、週に 10 時間以上行っている学生が 16.39%等と、かけている時間が長い学生も一定数居ることも、これまでと同様である。

全体的な「実施している者」の割合は、予習が 72.19%、復習が 83.15%であり、両方とも前回とほぼ

同様であった。なお、学部別で予習を実施している時間は、総合経営学部が 6.59 ポイント減、社会学部が 4.51 ポイント増、ソフトウェア情報学部が 20.28 ポイント増及び薬学部が 8.39 ポイント減と学部により増減が分かれた。また、同様に学部別で復習を実施している時間は、総合経営学部が 5.98 ポイント減、社会学部が 0.16 ポイント増、ソフトウェア情報学部が 8.57 ポイント増及び薬学部が 3.94 ポイント減と社会学部以外の 3 学部において増減が見られた。

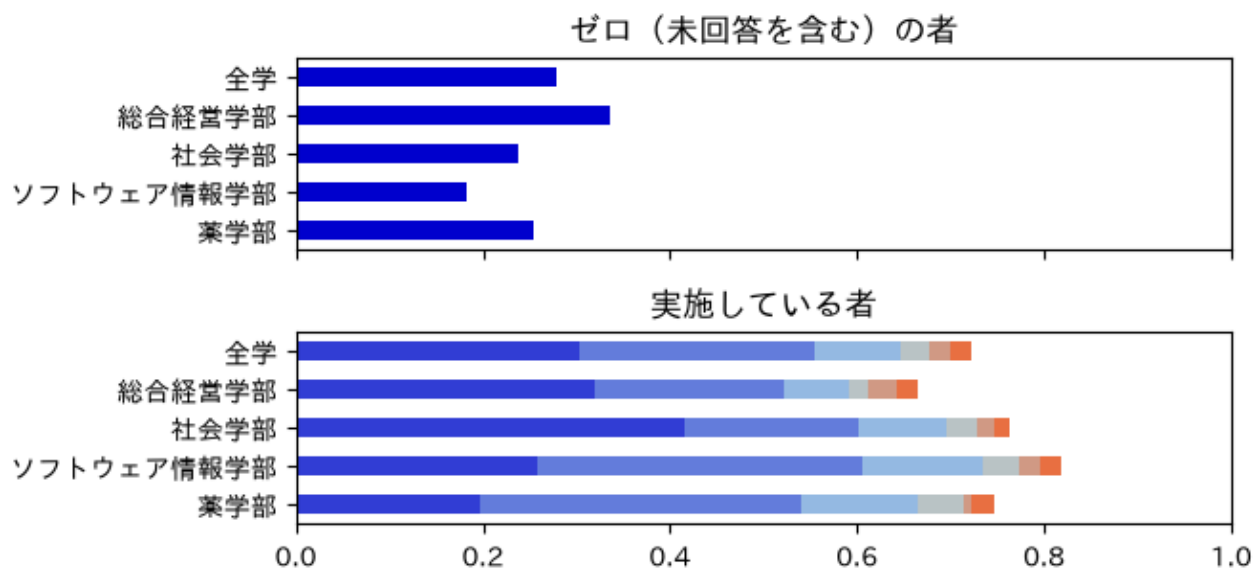


図 2 質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間の回答分布

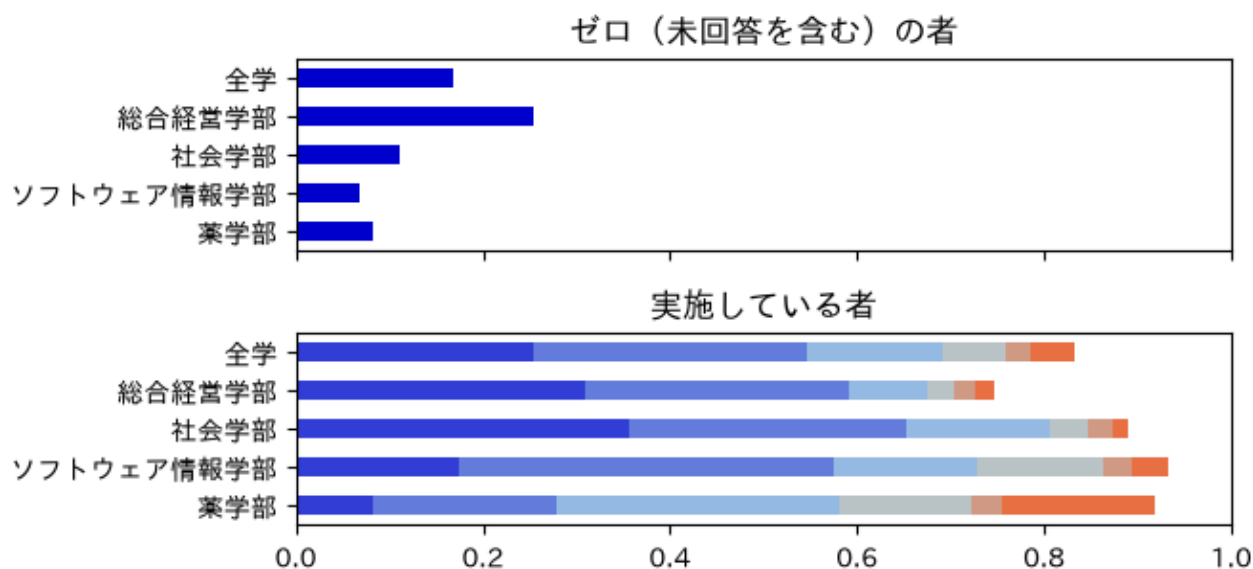


図 3 質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間の回答分布

質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」時間

予習や復習と別の資格取得のためなどの自主的な勉強時間は図 4 のようになった。学部別では、「実施

している」割合が、ソフトウェア情報学部が他学部より多く、薬学部では少ない。ただし、薬学部では 10 時間以上の時間をかけている学生が他学部よりも多い。

前回の調査と比較すると、「実施している者」の割合が全体では 8.11 ポイント減っている。学部別では、総合経営学部では 13.40 ポイント減、社会学部では 8.63 ポイント減となった一方、ソフトウェア情報学部では 7.40 ポイント増であり、薬学部ではほとんど変化が見られなかった。

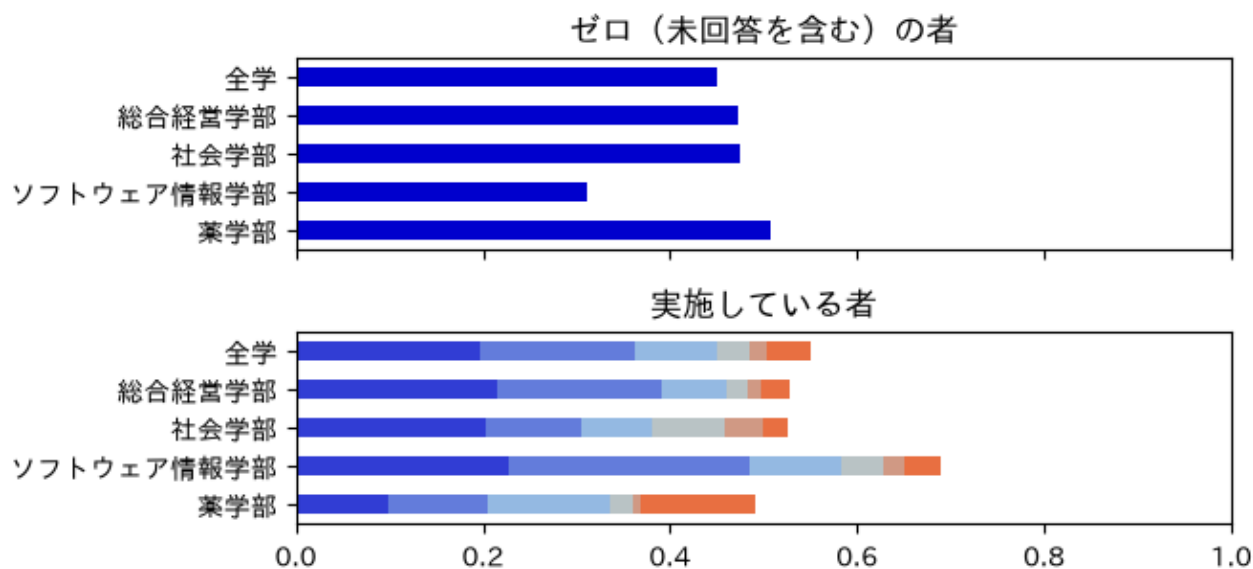


図 4 質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」の回答分布

質問 1.(オ) 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間

質問 1.(カ) 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

質問 1.(キ) 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

部活動・サークル活動にかかる時間は、今回も総合経営学部がもっとも多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部、薬学部の順となった。このうち週に 5 時間以上かけている割合は、総合経営学部：47.77%、社会学部：16.95%、ソフトウェア情報学部：9.85%及び薬学部：4.10%であった。前回調査では総合経営学部と社会学部で前回と比較して大きく増加しており、この 2 学部では今回さらに数ポイントずつ増加した。また学年別では、学年進行にともない部活動・サークル活動にかかる時間が減少している状況が今回も見られた。

大学外でのアルバイトや仕事にかかる時間は、大学全体で 62.19%が「実施している」と回答した。このうち週 5 時間以上行っている割合は、総合経営学部：52.79%（前回より 8.28 ポイント増）、社会学部：53.39%（前回より 8.45 ポイント増）、ソフトウェア情報学部：52.27%（前回より 11.24 ポイント増）薬学部：36.89%（前回より 0.72 ポイント増）であった。薬学部は前回同様であったが、それ以外の学部では増加している様子が見られた。

就職・進学などに関わる活動にかかる時間について全学では 45.48%の学生が「実施している」と回答した。学年別では、前は 3 年次が 74.81%と最も多かったが、今回は 64.74%と 10.07 ポイント減となり、わずかではあるが 4 年次の 65.41%が最も多くなった。

(参考) 2025 年度 「学修状況・満足度調査」(学修状況の部分)

質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業(実習・実験含む)への出席」時間

質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間

質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習(宿題や課題を行う時間を含める)」時間

質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外(資格取得など)の学習」

質問 1.(オ) 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間

質問 1.(カ) 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

質問 1.(キ) 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

質問 1.(ア)～(キ)の選択肢

- ◇ まったくない
- ◇ 週 1 時間未満
- ◇ 週 1 ～ 3 時間未満
- ◇ 週 3 ～ 5 時間未満
- ◇ 週 5 ～ 7 時間未満
- ◇ 週 7 ～ 10 時間未満
- ◇ 週 10 時間以上